

2002年6月22日

講義計画記載上の留意点

前期、後期同一内容を各15回実施する授業になります。定期試験を実施する場合には別途試験期間が設けられます。授業科目、講義形態、単位数、授業科目の概要は、様式に入力されています。

上記を踏まえた、下記の留意点を踏まえ、該当する科目の講義計画案を作成してください。

【キーワード】

キーワード欄にはシラバスを検索する際に参照される5つ程度のキーワードを記入してください。

【本授業の到達目標】

この授業で身に付く能力について、知識（〇〇の知識が身に付く）、理解（〇〇の理解が深まる）、思考（〇〇思考ができる）、判断（〇〇の適否の判断ができる）、技能（〇〇の技能が身に付く）、態度（〇〇の関心に目を向ける）等を具体的に示してください。

【授業計画】

- ・授業の到達目標をどのように達成するかを具体的かつ簡潔に記載してください。
- ・どのような授業を行うのかを具体的かつ簡潔に記入してください。

以下に好ましくない記入例を示します。

■好ましくない例①

… 〇〇①、〇〇②（〇〇は同一内容）というような具体性を欠く記載

■好ましくない例②

…授業時間内・授業時間内に「試験」のみ実施するような記載（授業時間が不足する）

【テキスト等、学修のために購入・準備が必要なもの】

- ・テキスト、教材、参考図書等、学生が授業の進行上購入が必要なものを記載し、使用しない場合は「なし」と記載してください。なお、記載する際は、以下にも注意してください。
- ・タイトル、著者名、出版社名、定価（税込み）、ISBN を記載してください。
- ・テキスト、教材等を使用せず、LMS を通じた資料配布やプリントを準備する場合は、その旨を記載してください。
- ・教材等において、複数の製造会社を選択でき、価格が異なる場合には 参考価格を記入してください。